

Bドライ

JIS A 6904 せっこうプaster

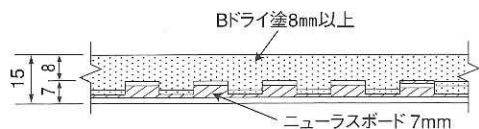


Bドライ
クラフト紙袋〈20kg入〉

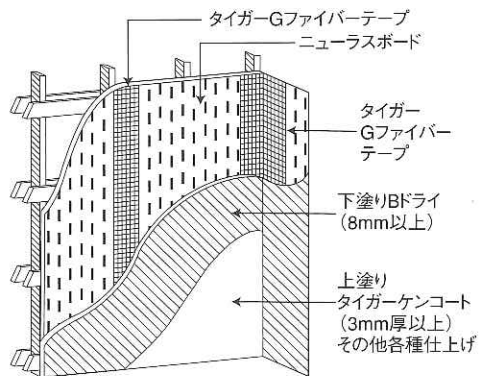


**国土交通大臣
認定**

■不燃:NM-8617



■木造軸組 下地例 (下地:ニューラスボード張り)



特 長

軽量骨材配合のため軽量・省力化

優れた耐火性 (防火構造・準耐火構造)

無収縮で安定した壁面

人に優しい安全なせっこう素材

仕上りの多様性

適合下地

■ニューラスボード

用 途

■既調合 内装・下塗りせっこうプaster

■B-YNプasterのプレミックスタイプ・ラスアンドプaster工法用

性 状

凝結時間	4~6時間	JIS A 6904の試験方法による
曲げ強度	1.0N/mm ² 以上	
圧縮強度	3.0N/mm ² 以上	
硬化体比重	0.9	—
ニューラスボードへの接着強度	0.2~0.3N/mm ²	建研式付着力試験器による

施工要領

■塗厚と使用量

塗厚	1袋当たりの塗面積	m ² 当たりの使用量
8mm (標準塗厚)	約3m ²	約7kg
12mm	約1.5m ²	約10.5kg

■混練水量 1袋 (20kg) 当たり 約8L



YOSHINO
安全で快適な住空間を創る **吉野石膏**

■施工工程

工 程		塗 厚	
		8mm	12mm
下地組み	木造軸組	■間柱 間隔は約455mmとします。これに胴縁(大貫2割割)を約455mm間隔に欠き込みツラいちに取付けます。 ■ニューラスボード張り 突付け張りとし、釘は平頭亜鉛メッキ(JIS A 5508)またはユニクロームメッキ鉄釘を使います。釘の長さはニューラスボードの約3倍程度のもので、ラス穴を避けて釘頭がニューラスボードの表面とツラいちになるように打ち込みます。この際、釘頭がニューラスボードの表面紙を破り、中までめり込まないように注意します。釘留め位置は、ニューラスボードの縁より、10mm内側とし、釘間隔はニューラスボード周辺部では約100mmとし、その他の中間部では約150mmとします。不完全な軸組や釘留めはBドライ施工後、ふくれ、そり、はがれなどの事故の原因となります。	
	鋼製下地軸組	■軸組構造、取付け 各鋼製下地メーカーによって仕様が異なりますので、各々の仕様に従ってください。 ■ニューラスボード張り 各メーカーの仕様による金具や亜鉛メッキのドリリングタッピンねじを使います。ねじの長さは約22mmのものを用い、ラス穴を避けてねじ頭がニューラスボード表面とツラいちになるようにしめつけます。ねじの留め付け位置は、ニューラスボードの縁より10mm内側とし、間隔はニューラスボード周辺部では約150mmとし、その他の中間部では200mm以内とします。	
混 練	◆手練り(練舟)	Bドライと適量の水を加えてよく練り合わせます。	
	◆機械練り(ミキサー)	ミキサーにBドライを入れ、適量の水を加えながらよく練り合わせます。	
下 塗		最初はニューラスボードにすり込むように十分に鍍圧をかけて1回塗付け、折り返し、追いかけて所定の厚さ(標準8mm)に塗付け、水引加減のタイミングを見て、ムラを取ります。表面の押さえ方は、最終仕上げに合わせてください。	最初はニューラスボードにすり込むように十分に鍍圧をかけて1回塗付け、折り返し、追いかけて5~7mm厚に塗付けます。下塗面が軟らかいうちに櫛目を入れて硬化を待ちます。
中 塗		——	下塗の硬化後(施工して半日から1日後)に下塗と同じ要領で5~7mm厚に塗付けます。定木ずりを行い、水引加減のタイミングを見て、ムラを取ります。表面の押さえ方は、最終仕上げに合わせてください。
養 生		■ 施工中および施工完了後、Bドライが硬化するまでは通風を避けます。硬化後は速やかに乾燥させます。 ■ 冬季、養生中に凍結する心配がある場合は、暖房を行い、換気装置を設けて施工してください。	

■各種仕上材とBドライ表面の押さえ方

仕上材	押さえ方
繊維・日本壁	金鍍押さえ
漆喰	木鍍押さえ
ケンコート・ケンコートU	木鍍押さえ

■目地処理材 ニューラスボード継目部のクラック防止に有効



◀タイガー-Gファイバーテープ

施工部位・作業・保管・廃棄に関する注意事項

施工部位について

- 指定用途以外の使用は、保証致しかねます。
- せっこう建材は雨・水漏れ・湿気厳禁の材料です。水や湿気に触れやすい部位への施工は避けてください。
- 湿気の多い地下室・浴室や外壁には使用しないでください。
- ガラスウール等を壁内に施工する場合、ガラスウールの厚みにより壁がふくらむ場合があります。
- 天井への施工は禁止します。荷重が垂直にかかる為、条件により剥落事故の原因となります。

作業について

- 使用時に粉塵が目・鼻・喉や皮膚を刺激することがあります。安全の為作業時は、防護マスクや保護メガネ・手袋等をご使用ください。

- 目や鼻・喉に入ったときは、すぐにきれいな水で十分に洗浄してください。手についたときも同様に出来るだけ早く洗浄してください。

保管・廃棄について

- 製品の変質を避ける為、高温・多湿又は結露の発生しやすい場所や、床・壁面に接触する様な保管は避けてください。
- 製造日から180日以内に使用してください。
- 製品の袋・残材・排水が、環境公害にならないように処理を御願いいたします。

その他

- アルミサッシ・金属に接するところは、必ずビニル製の見切りなどで縁を切ってください。
- 凍結による性能低下の恐れがありますので、気温3℃以下での施工は避けてください。

- アスベストについて — 現在、当社製品にはアスベストは一切使用しておりません。
- ホルムアルデヒドについて — 当社のせっこうボード・せっこうプラスター・パテ及びボンド類は、ホルムアルデヒド発散建材を定める告示による規制対象外となっており、使用面積の制限はありません。
- クロロピリホスについて — 当社製品は、クロロピリホスを一切使用しておりません。
- カビの発生について — せっこうボード類は施工当初、施工後にかかわらず、湿度が高くなった場合にはカビが発生する恐れがありますので、換気または除湿を十分に行い湿度を低く保つように努めてください。

ISO 登録

ISO 9001 技術研究所
 [工場] 東京・草加・千葉第一・千葉第二・千葉第三・三河・今治・北九州
 北海道吉野・日東石膏ボード・小名浜吉野・新潟吉野・日産建材・ジブテック(秋田・小名浜・高砂)
 ISO 14001 [工場] 三河・今治・北九州・日東石膏ボード



安全で快適な住空間を創る
YOSHINO
 吉野石膏株式会社

本社 〒100-0005
 東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル
 ホームページ(URL) <http://www.yoshino-gypsum.com/>

札幌支店 ☎011(221)6465	旭川営業所 ☎0166(47)3680	金沢営業所 ☎076(233)5275
仙台支店 022(262)4421	青森営業所 017(777)0261	静岡営業所 054(253)5101
北関東支店 048(643)6151	盛岡営業所 019(624)0877	堺営業所 072(232)0662
東京支店 03(3216)1717	郡山営業所 024(934)9310	神戸営業所 078(232)3725
横浜支店 045(651)3541	宇都宮営業所 028(643)6066	岡山営業所 086(226)4500
新潟支店 025(245)7681	高崎営業所 027(321)6163	高松営業所 087(834)2001
名古屋支店 052(223)2661	千葉営業所 043(246)7011	松江営業所 0852(37)1646
大阪支店 06(6449)1000	柏営業所 04(7144)1611	北九州営業所 093(521)5018
広島支店 082(248)0494	相模原営業所 042(528)0581	鹿児島営業所 099(225)1015
福岡支店 092(451)5315	長野営業所 042(752)1951	
セラミック営業部 03(3216)2670		

●詳細についてのお問合わせは吉野石膏D.D.センター ☎03(3284)1181 FAX 03(3284)1194